

## 名護市ふるさとまちづくり寄附金活用事業のご紹介（平成 26 年度）

多くの皆様からふるさとまちづくり寄附金（ふるさと納税）としていただきましたご寄附は、次のような事業に活用させていただきます。皆様からのあたたかいご支援に心から感謝申し上げます。

### 1. 安心して子育てできる環境づくりを推進しました

ふるさと寄附金の充当金額	15,000,000 円
--------------	--------------

#### 【活用用途】

第2号：総合的な子ども支援と健康・生きがいつくりを推進するための

#### 【事業内容：認可外保育施設多子世帯負担軽減事業】

認可外保育施設が待機児童の受け皿として機能している状況から、認可保育所において多子世帯への保育料軽減が制度化されていることを踏まえ、利用している多子世帯の経済的負担軽減を図ることにより認可外保育施設を積極的に活用し、安心して子育てできる環境づくりを推進することを目的として、認可外保育施設へ支払う保育料への助成をおこないました。この助成金にふるさとまちづくり寄附金を活用し、認可外保育施設に入所する多子世帯の負担軽減を図りました。

今後は認可保育所の整備に伴い、待機児童解消を計画的に進め、当該事業の縮減を図っていきます。

助成対象児童のうち2人目については認可外保育施設へ支払うべき保育料の半額、3人目以降については保育料の全額を助成。

### 2. 安全・安心・平和なまちづくりの推進を図りました

ふるさと寄附金の充当金額	2,900,000 円
--------------	-------------

#### 【活用用途】

第3号：安全・安心・平和なまちづくりを推進するための事業

#### 【事業内容：航空機等騒音測定器維持管理事業・基地対策費】

米軍専用施設（おもにキャンプ・シュワブ）で実施される訓練等を起因とした騒音に対して、その状況把握のため、市内7カ所（辺野古・豊原・久志・瀬嵩・安部・幸喜・許田）に航空機等騒音測定器を設置しています。このうち3カ所（辺野古・豊原・久志）においては廃弾処理音測定装置も重複設置しています。収集した騒音データは、市ホームページで公表するとともに騒音に対する苦情があった場合に沖縄防衛局を通じて米軍へ申入れを行う際の資料として活用しております。

本事業はこれら測定器の維持管理を行ない、騒音被害を具体的な数値として米軍に伝えその改善を促すことを目的としており、安全・安心・平和なまちづくりを推進するために活用しています。

また、名護市では普天間飛行場代替施設建設問題の解決に向けた訪米行動を行っており、本年度は平成26年5月15日から24日にかけてアメリカを訪れ、連邦議会議員や政府機関等との面談を行いました。その訪米旅費にふるさとまちづくり寄附金を活用し、安全・安心・平和なまちづくりを推進しています。



航空機等騒音測定器



平成26年5月15日～24日訪米行動  
(サンフォード・ビショップ下院議員との面談)



平成26年5月15日～24日訪米行動  
(コロンビア大学でのワークショップ)

### 3. 活力ある地域づくりを支援しました

ふるさと寄附金の充当金額	6,000,000 円
--------------	-------------

#### 【活用用途】

- 第1号：地域経済の活性化と雇用の創出を推進するための事業
- 第3号：安全・安心・平和なまちづくりを推進するための事業
- 第6号：協働の仕組みづくりを推進するための事業

#### 【事業内容：地域提案型事業】

地域の課題を地域自らが解決するために行政区が主体となり、企画、提案及び実施する地域づくり事業に対し経費の一部を助成することにより、活力ある地域づくりを支援しています。

平成26年度は地域資源を生かし、子供からお年寄りまで楽しめる住民が集える憩いの場所の創出、地域密着の産業の育成、明るい活力ある地域づくりを目指した「屋部川”七色”にじまつり事業」や、将来的な観光名所を目指して川沿いの護岸を修復し、遊歩道を整備した「汀間川河川沿いの遊歩道整備事業」、「やんばる風景花街道」を通じた地域連携による地域おこしの取組として「やんばる風景花街道フラワーフェスティバル2015」を実施するなど、各区がそれぞれの地域づくりやまちづくりに取り組んでいます。

このような地域で提案し実施する事業への助成金にふるさとまちづくり寄附金を活用し、活力ある地域づくりを支援しています。



やんばる風景花街道フラワーフェスティバル2015



屋部川”七色”にじまつり



屋部川”七色”にじまつり：屋部川カヌー

### 4. 金融・情報通信国際都市構想を推進しました

ふるさと寄附金の充当金額	2,500,000 円
--------------	-------------

#### 【活用用途】

- 第5号：国際化・高度情報化社会を推進するための事業

#### 【事業内容：金融・ITキャリア教育支援事業】

本市は経済金融活性化特区・情報特区の指定を受け、金融・情報通信国際都市構想を推進しています。そのため進出企業へ安定した人財を供給していく必要性があり、市内の小中学校を始め、高校、専門学校等を対象に、金融・IT関連産業への関心を深めるとともに、本市に進出している立地企業への就職を意識させるため、勤労観、就職観の育成等、沖縄県のキャリア教育推進プランに基づいたカリキュラムを編成し、ビジネスマナー及びビジネスコミュニケーション等から専門資格の取得といったキャリア教育を実施しています。このキャリア教育支援事業にふるさとまちづくり寄附金を活用し、金融・情報通信国際都市構想を推進しています。

平成26年度は、沖縄県立名護商工高等学校の生徒を対象に各学年に即したキャリア教育を実施しました。

- 1年生：進出企業見学
- 2年生：インターンシップ事前学習、コミュニケーション能力向上セミナー、FP講話
- 3年生：資格取得講座（FP技能検定3級対策講座）



5. 環境にやさしいまちづくりの推進に取り組みました

ふるさと寄附金の充当金額	4,300,000 円
--------------	-------------

【活用用途】

第4号：環境にやさしいまちづくりを推進するための事業

【事業内容：ごみ減量・3R推進事業】

ごみ減量・3R推進事業として、「生ごみ堆肥化事業」や「子ども環境学習及び人材育成事業」を実施しました。生ごみ堆肥化事業では、家庭から出される生ごみを堆肥に加工し、作られた堆肥は、北部農林高校の野菜作りで実証実験に使われています。環境教育の一環としてエコの意識を持ってもらうことを目的に、北部農林高校の生徒への見学会も行いました。生ごみも処理の仕方考えれば、資源となるということはこの事業を通して発信しています。

また、自然の美しさや面白さを発見することによって、子供のころから環境保全について考える完成を育み、あらゆる場面で環境に配慮した具体的真行動を起こすことを目的として「子ども環境学習事業」を実施しています。今年度は市内在住の小学4年生～6年生の児童が参加し、事前ワークショップ・自然体験・事後ワークショップを通し、自然に対する意識の変化を確認しました。このような環境にやさしいまちづくりを推進するためにふるさとまちづくり寄附金を活用しています。



子ども環境学習



各家庭からの生ごみを回収



生ごみと土を攪拌



作られた堆肥で北部農林高校の野菜作り